

君の名は。6（聖地裏解説）

新宿警察署



しくみ

- 新宿警察署 - 宮中三殿 5.20km
- 新宿警察署 - 在日米国大使館 5.20km
- 新宿警察署 - 正福寺 5.20km
- 新宿警察署 - 常國寺 5.20km
- 新宿警察署 - 霊南坂教会 5.20km
- 新宿警察署 - 阿彌陀寺 5.20km
- 新宿警察署 - 駐日スイス大使館 5.20km
- 新宿警察署 - 聖心女子大学 5.20km
- 新宿警察署 - 日本基督教団阿佐谷教会 5.20km
- 新宿警察署 - 天理教 紀豊崎分教会 5.20km
- 新宿警察署 - 傳通院観音堂 5.20km
- 新宿警察署 - 天理教 理實分教会 5.20km
- 新宿警察署 - 住宅金融支援機構本店 5.20km

中心

警視庁新宿警察署

警視庁が管轄する警察署の一つ。第四方面本部所属。署員数約 630 名、日本最大の警察署。署長は警視正。新宿区の西部を管轄している。その管轄には日本一の歓楽街・歌舞伎町や、一日平均 70 万人以上が行き交う新宿駅などが含まれている。警視庁警察署でも群を抜いて警察官の人数が多い。東京都新宿区西新宿六丁目 1 番 1 号



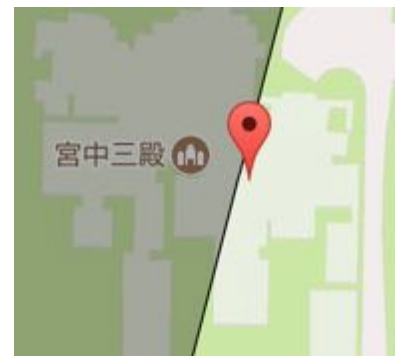
宮中三殿賢所

宮中三殿は、皇居内にある三つの連結された建造物の総称である。それぞれ、神道の神を祀っており、宮中祭祀（皇室祭祀）の中心となる。宮中三殿の構内には、附属するいくつかの建造物が配置されている。四方拝、新嘗祭が行われる神嘉殿（しんかでん）、鎮魂祭や天皇皇后の装束への着替えが行われる綾綺殿（りょうきでん）、神楽が行われる神楽舎（かぐらしゃ）、楽師が雅楽を演奏する奏楽舎（そうがくしゃ）、列席者が待機する左幄舎（ひだりあくしゃ）と右幄舎（みぎあくしゃ）、賢所に正対する賢所正門、新嘉殿に正対する新嘉門などである。宮中三殿の祭祀は、明治維新から宮中祭祀の変遷と漸次的集約を経て、教部省が成立した直後の明治 5 年 4 月 2 日（1872 年 5 月 8 日）に整ったと解されている。



賢所には皇祖神天照大神を祀る。その御霊代である神鏡（八咫鏡の複製）が奉斎されている。また「かしこどころ」と読んで神鏡そのものを指すこともある。古代より宮中で祭祀された。掌典及び内掌典が御用を奉り、「忌火」（「神聖な火」の意味）を護り続けるとされる。平安時代は温明殿（うんめいでん）、鎌倉時代以後は春興殿にあった。古代から続くという宮中祭祀が行われ、現在の皇后、皇太子妃など皇族の妃らを宮中に迎える結婚の儀もここで行われた。その際、后妃が賢所を退出した際に婚姻成立とみなされる。神聖な場所のため穢れを嫌い、「次清」の別などの厳格な規律があるという。なお、宮中三殿のうち賢所は古代から宮中で奉斎されてきましたが、皇霊殿と神殿は、明治維新以降の宮中祭祀制度の再編成によって新たに宮中に遷座・奉斎されたものです。

東京都千代田区千代田 1-1



駐日アメリカ合衆国大使館

アメリカ合衆国連邦政府を代表して、隣接する千代田区霞が関地区に集中する日本政府の中央省庁などとの交渉や情報収集にあたることを主要業務としている。近年の重要課題としては、米軍再編問題、BSE に起因する米国産牛肉の輸入問題などがある。また、米国文化の普及活動や、観光促進のための米国各地の観光局や企業への斡旋も行っている。さらに、大阪、名古屋、札幌、福岡・那覇にある領事館とともに、米国の市民権を持つ者に対する支援や、米国を訪問する外国人へ査証の発券などの領事業務を行っている。日本における米国大使館の歴史は、1853 年のペリー来航に始まります。翌 1854 年に日米和親条約が結ばれ、1856 年に初代米国総領事ハリスが下田の玉泉寺に臨時の領事館を開いて以来、米国公館（公使館のちに大使館）の場所は、東京麻布の善福寺、横浜関内の外国人居留地、東京築地の外国人居留地を経て、1890 年東京赤坂へと移ってきました。その後 1923 年に関東大震災の被害に遭い、旧帝国ホテルで業務を行っていた時期もあります。1931 年に再建された白亜の大使館は 40 年以上使われましたが、時代の移り変わりとともに手狭になったため、1976 年シーザー・ペリとノーマ・メリック・スクラレックの設計により、近代的な建物に建て替えられ、現在に至っています。

東京都港区赤坂 1 丁目 1-10-5



正福寺

正福寺は、光教院休傳法師（延宝3年1675寂）が開基となり影正庵として創建、享保11年（1726）現寺号に改めたといいます。

港区赤坂1-11-3

常國寺

江戸時代前期の寛文年間 1661 年に、開基玄誓上人によって 創建され、はじめは貞教庵と称しました。当初は日比谷桜田門・祝田橋周辺にありました。その後江戸城拡張工事のため、溜池を望む高台（霊南坂）に移転しました。寺号も三世玄説上人の代（宝永年間）に常國寺と改めました。今は霊南坂町も住居表示変更で赤坂となり、坂の名に霊南坂が残るだけになりました。

東京都港区赤坂 1 丁目 1 1-4



霊南坂教会

元日本基督組合教会の中心的な教会。三浦友和と山口百恵が結婚式を挙げた教会として有名。初期の頃は、東京第一基督教会と呼ばれた。1879 年(明治 12 年)、熊本バンドの小崎弘道を迎え、岡田松生らの 11 人の組合教会系の関西のクリスチャン青年(群羊社)によって、津田仙の学農社分教場で新肴町教会が創立される。

栗津高明が創立した日本教会が、高津の死後 2 年目の 1882 年(明治 15 年)、小崎弘道牧師の新肴町教会と合併して東京第一基督教会となる。1883 年(明治 16 年)、赤坂霊南坂に東京第一基督教会の教会堂を建立。1885 年(明治 18 年)、ヨーロッパから帰国した三好退蔵を中心として、和田垣謙蔵、国府寺新作、岡部長職、本田康之など海外で洗礼を受けた人々は三好宅で集まって聖書研究会を開いていたが、東京第一基督教会(霊南坂教会)が近くにあったので合流して教会を新しく組織した。

東京都港区赤坂 1 丁目 1 4-3 18



阿彌陀寺

東京都新宿区西新宿六丁目1番1号



駐日スイス大使館

東京都港区南麻布5丁目5-9-12



聖心女子大学

開校は1916年。私立聖心女子学院高等専門学校を前身とし、1948年、新学制により聖心女子大学として発足。日本最初の女子大学の一つである。初代学長はエリザベス・ブリッド。元国連難民高等弁務官の緒方貞子は新制大学の第一期生。

1800年、フランスに設立された女子修道会「聖心会」を母体とし、世界42カ国に170校の姉妹校を持つ。現在の聖心会総本部はイタリア・ローマにある。広尾の大学構内には聖心会日本管区本部のほか、付属研究機関としてキリスト教文化研究所、カトリック女子教育研究所が設置されている。

なお同大学のキャンパスはもとの久邇宮邸であり、香淳皇后（昭和天皇皇后）が幼少を過ごした地、結婚の折にはこの地から宮中に向かった。正門とパレスと呼ばれる伝統的日本家屋は、当時のものがそのまま修復保存されている。図らずも皇后美智子（今上天皇皇后）の出身大学でもあったことから、2代続けて皇后に縁のあるキャンパスということになる。更に江戸時代には、幕末の安政の五カ国条約締結時など重要な時期に、幕府の老中首座を務めた下総佐倉藩主、堀田家の下屋敷だった。隣の日赤の敷地にまで広大なエリアを占めており、今でも西麻布方面からの上り坂を堀田坂と称するなど、痕跡は残っている。 東京都渋谷区広尾四丁目3番1号



日本基督教団阿佐ヶ谷教会

1924(大正13)年2月10日(日) 当時のキリスト教の指導者の一人であった平岩愼保(よしやす)牧師が自宅朝谷小山荘に「エス教友団」の最初の集会を開きました。1941(昭和16)年6月24日(火)日本基督教団成立。教会の正式名称は「日本基督教団阿佐ヶ谷教会」となります。加藤照子伝道師就任。



天理教 紀豊崎分教会

東京都練馬区豊玉中1-1-1



傳通院観音堂

東京都文京区小石川3丁目14-6



天理教 理實分教会

東京都文京区小石川2-11-12



住宅金融支援機構本店

東京都文京区後楽1丁目





備考

日本を操っている国の一つアメリカ大使館にまたつながった。（詳しくは「アメリカ大使館」のしくみも参考にどうぞ）大使館はなにかとラインに載ってくる。スイス大使館のスイスは、金正恩の留学先。金家がもう一つの天〇家の血筋なことは、まっとうな政治を叫ぶ人々にとって周知の事実。だから選挙や戦争関連法案が審議されるたびにミサイルが飛んでくる。マッチポンプで国民を脅かし防衛費を上げ、アメリカから様々な兵器を買い、格差社会を作って貧しい国民は自衛隊に入らせ、日本を戦争にいざなおうとしているという考え方は私も納得する。多額なお金をもらったトランプも表面上はあわせているが、実際は北朝鮮と対話政策を進めている。スイス銀行には天〇家の物凄い財産が管理されているという噂もある。世界中の巨悪達はみんな裏でつながって、戦争や災害や異常気象さらには病気を起こして金儲けと人減らしをしているらしい。けして陰謀論ではない。

天理教は至る所に小さな分教会があり、なにかとラインに乗ってくる。いつも様々な新興宗教やキリスト教会がラインに載ってくるのは、組織のトップ達は宗教を関係なく天〇家と連携しているということなのだろう。次項では宮中三殿を中心に探してみたが、さらに凄い所とつながった。



しくみ

- 宮中三殿 1.75km - 新宿警察署 5.20km
- 宮中三殿 1.75km - 東京大学医科学研究所附属病院 5.20km
(旧国立伝染病研究所→旧東京帝国大学伝染病研究所)
- 宮中三殿 1.75km - 旧国立公衆衛生院 5.20km
- 宮中三殿 1.75km - NHK日本放送協会 5.20km
- 宮中三殿 1.75km - 国立オリンピック記念青少年総合センター 5.20km
- 宮中三殿 1.75km - 淀橋教会 5.20km
- 宮中三殿 1.75km - 大正製薬株 5.20km
- 宮中三殿 1.75km - 豊洲市場 5.20km

東京大学医科学研究所附属病院

(旧国立伝染病研究所→旧東京帝国大学伝染病研究所)

1892年、ドイツ留学から帰国した北里柴三郎には、当時、日本では受け入れる機関がなく、国家有為の才能を発揮できない状態にあった。これを聞いた福沢諭吉が私財を投じて設立した研究所が、「大日本私立衛生会附属伝染病研究所」である。福澤の他に森村市左衛門、長與専齋もこれを助けた。後に内務省から文部省に移管されるに及んで北里は同所を去り、新たに「北里研究所」を設立して研究を続けた。



沿革

1892年11月 - 大日本私立衛生会附属伝染病研究所を設立

1899年 - 内務省所管の国立伝染病研究所となる。

1905年4月 - 痘苗製造所および血清薬院を併合

1914年 - 内務省から文部省に移管。初代所長の北里柴三郎は、伝染病研究所が内務省から文部省に移管され東京大学に合併される時、移管に反対して所長を辞任。この時、志賀潔を始めとする研究所の職員全員が一斉に辞表を提出した。伝研騒動といわれる。北里柴三郎は、11月5日に私費を投じて北里研究所を設立した。

1916年 - 東京帝国大学の附置研究所となる。所長および所員は東京帝国大学教授および助教授でほかに専任技師、技手、書記などが多数、任務に服する。病源の検索、予防治療方法の研究、予防消毒治療材料の検査、伝染病研究方法の講習ならびに痘苗血清ワクチン等細菌学的予防治療品の製造および検定に関する事業を掌る。

1947年 - 主に検査・製造などに関わる部門などを厚生省所管の国立予防衛生研究所（現・国立感染症研究所）として分離

1967年 - 伝染病研究所を改組して医科学研究所が設置された。

2001年 - 近代医科学記念館を開設

東京都港区白金台4丁目6-1

旧国立公衆衛生院

1923年（大正12年）9月1日、米国ロックフェラー財団から、関東大震災後の災害地復興援助の一部として、公衆衛生専門家の育成・訓練機関の設立について、日本政府に非公式な連絡があった。

1930年（昭和5年）、日本政府は公衆衛生院及び学生の臨地訓練機関としての都市及び農村保健館の設計図・公衆衛生院の計画案をロックフェラー財団へ送付した。この計画案が、財団で了承され、次いで建築設計の実施案の作製に着手することとなった。政府は東京帝国大学伝染病研究所および同附属病院と同じ敷地内に隣接して建設に着手した。

現在は、都心の一等地にある稀有な廃墟系となっている。今後、この旧国立公衆衛生院本館とその周囲の土地は、既存の建物を整備したホスピタルパークとして再開発される予定になっている。

東京都港区白金台4丁目6-1



NHK日本放送協会

NHKは放送法に基づく特殊法人として1950年に設立された。設立目的は、放送法により「公共の福祉のために、あまねく日本全国で受信できるように豊かで、且つ良い放送番組による国内基幹放送を行うと同時に放送およびその受信の進歩発達に必要な業務を行い、合わせて国際放送および協会国際衛星放送を行うこと」とされている。また、同法の規定により1926年に設立された社団法人日本放送協会の業務を継承している。なお、社団法人日本放送協会は、1925年に日本で初めて放送業務を開始した社団法人東京放送局、社団法人名古屋放送局、社団法人大阪放送局（現：NHK放送センター、NHK名古屋放送局、NHK大阪放送局）の業務を統合して設立されたものである。

東京都渋谷区神南二丁目2番1号



国立オリンピック記念青少年総合センター

独立行政法人国立青少年教育振興機構が、青少年に学習と体育活動の場を提供する目的に設置運営する施設である。1964年東京オリンピックにおける代々木選手村の集合住宅を改修して、オリンピック翌年の1965年（昭和40年）に開業した。

東京都渋谷区代々木神園町 3-1



淀橋教会

淀橋教会（よどばしきょうかい）はホーリネス運動で最初に誕生した教会。ホーリネス運動の中で重要な役割を果たして来た。現在は、ウェスレアン・ホーリネス教団の教会である。1911年の聖教団事件の際に、聖書学院教会と神田の信徒で日本聖教団淀橋教会と呼称するようになる。1992年に峯野龍弘が中心になり、日本基督教団を離脱して、ウェスレアン・ホーリネス教団を設立する。

東京都新宿区百人町 1 丁目 1 7-8



大正製薬株

1912年（大正元年）10月に石井絹治郎が個人企業として設立した大正製薬所を前身とし、1928年（昭和3年）に「株式会社大正製薬所」に改組された。1948年（昭和23年）5月に、現在の「大正製薬株式会社」に商号（社名）変更している。

「ワシのマーク」の社章で広く知られ、一般の薬局やドラッグストアで市販される大衆薬ではトップシェアを誇る。関東大震災で日本薬剤師会が焼失した際に、大正製薬所の応接間を仮事務所に提供する一方、出入りの大工を焼跡に派遣し、バラック建の事務所を急造させたほか、1918年に開設していた大阪支店に命じて、大阪から大量の医薬品や衛生材料などを至急輸送させ、罹災した会員に無料配布するなど、迅速果敢な処置を行った。結果的に、東京の同業者の多くが罹災したが、運よく罹災を逃れた大正製薬所に注文が殺到し、損失の数倍に匹敵する利益を上げた。

東京都豊島区高田 3 丁目 2 4-1



豊洲市場

新設が予定されている東京都中央卸売市場の一つ。2018年（平成30年）10月に開場を予定している（築地市場移転問題の項目も参照）。東京都江東区豊洲 6 丁目 6



新宿三井ビルディング

新宿新都心の一角にある超高層ビル。三井不動産が経営している。通称は新宿三井ビル、あるいは単に三井ビルと呼ばれたりもする。高さは軒高210メートル、最頂部225メートル。竣工してしばらくは、日本一高いビルであった。東京都新宿区西新宿 2 丁目 1-1



備考

この円周上にきちんと配置されているNHK。昨年NHKスペシャルで特集された日本軍の731部隊。民法同様政府の御用メディアとなったNHKなのに、踏み込んだ内容となっていて驚いた。トップ以外はまだ志あるジャーナリストが活躍していることを信じたい。旧日本軍の731部隊は、スパイ容疑や捕虜として拘束された3000人以上の朝鮮人、中国人、モンゴル人、ロシア人、アメリカ人を人体実験の材料として犠牲にした。一般市民も女性も子供までも含まれていたという。ほとんどが生きたまま麻酔もせず実験するその残虐さに本当に人間が成せることなのかと信じられなかったが、残された写真は目をそむけなくなるほど惨たらしくリアルだ。その残虐さはネットやYoutubeですぐに見つけることができる。その731部隊に東大医学部の伝染病研究所や公衆衛生院からも多くの教授達が参加している。

今回調べたしくみはまさに伝染病研究所と公衆衛生院のためのもので間違いはない。以下の写真地図を見てもらえばわかるが、二つの建物の中心が円周線上に正確に配置されて建ててある。建物の雰囲気もとても怖い。元々細菌兵器を作る目的の研究施設だったのではないだろうか。核兵器すらも京都大学の湯川秀樹が作っていたことがわかっている。



大正製薬が同じ円周上に載ってきた。製薬会社と医学会、政治、企業（食品、農薬系）の癒着により、私たち現代の日本人は薬や食べ物に蝕まれている。特に東大医学部の教授は政府や企業の御用学者であることは有名である。極悪非道な731部隊だった教授陣も戦後は医療界の指導的存在になったというから悲しくなる。やはり、私たちの病気は作られている。彼らが戦犯にならなかったのは、米国がそのデータを自国の兵器開発に極秘利用したからという。1.17や3.11、熊本地震と同様、関東大震災も人工地震説があるが、大正製薬だけが被害を免れ大儲けしている。予め起こることを予測していたのではないだろうか。貧しい農家の子供だった創業者の石井絹治郎は、13歳の時に宮内省侍医の岡家に書生として住

み込み育てられ、明治薬科大学まで卒業させてもらっている。地震や戦争のたびに誰かが大儲けしている。大正製薬がこのしくみの同じ円周上に配置されてあることを考える。

豊洲市場は旧陸軍の毒ガスを製造していた研究所跡地の残土の処分地だから汚染されている。都はそれをわかっていて豊洲市場を作った。細長い敷地をきれいに縦断するように円周ラインが通るので参考に入れておいた。都民の食べ物に悪魔の気が流れ込む。そして天皇財閥の三井ビル。日本のお金持ちや政治家のトップ達は全て天〇家の血筋。

日本最大の新宿警察署のビル。「君の名は。」で感動した多くのファンたちが聖地として見上げたことだろう。他の聖地同様、その優しい気（念）は、残念ながら巨悪達の中心施設の天〇家や関連企業や宗教団体に気を運び、さらなる悪魔の力の蓄えとなっている。ただ、このアニメが、大和朝廷が侵略してくる以前の平和な縄文時代に1万年近く信仰していた本当の神は、太陽神「たとえば饒速日命」と大地（月・水）神「たとえば瀬織津姫」の一体神だったことを、漠然とでも思い出させるものになったとすれば評価に値する。新海監督の真意を信じたい。

これで「君の名は。」の聖地調査は終わります。他に心当たりがありましたら、ぜひご自身で調べてみてください。https://www.benricho.org/map_fukushimagenpatsu/
歴史妄想にお付き合いいただきありがとうございました。



参考

サイト「驚愕！御用医学者をさかのぼると、すぐに731部隊に行き着く」より抜粋

<http://www.asyura2.com/14/genpatu38/msg/205.html>

==== 国立公衆衛生院 ====

東大系の研究所では、国立公衆衛生院、東大医科学研究所（旧伝染病研究所）、国立感染症研究所（旧国立予防衛生研究所）の3つが731部隊との関わり合いが深い。

まず国立公衆衛生院であるが、関東大震災の復興援助として、ロックフェラー財団から建物・設備が寄贈されたのがその始まりである。

ここの疫学部長に就任したのが野辺地慶三である。彼は1923年、ハーバード大学に留学、帰国後数々の業績をあげ「公衆衛生の父」と呼ばれている。

1958年にはABCCの疫学部長に就任している。

この人物も731部隊、そして米国との関わり合いが深い。

戦後、百日咳の研究で、731部隊の最高幹部であった北野政次、安東洪次と協力している。

重松逸造は野辺地の教え子で、1966年に疫学部長に就任している。

国立公衆衛生院は2002年、改組により国立保健医療科学院となり、

現在は、汚染食品からの被ばくは小さいなど安全キャンペーンをやっている。

==== 東大医科学研究所（旧伝染病研究所） ====

上昌広教授、坪倉正治医師の所属する医科学研究所（医科研）は、初代所長があのだ北里柴三郎で、由緒ある、エリート医学者のための研究所である。

しかし第7代所長・田宮猛雄は731部隊への人材供給役であった。

宮川米次（第5代伝研所長）、細谷省吾、小島三郎、柳沢謙、金子順一、安東洪次、緒方富雄、浅沼靖などの研究者が731部隊に関与したと言われる。戦後、何食わぬ顔で東大教授になった人もいる。

戦後、731部隊長・北野政次が伝研に現れたとき、もっとも北野を庇護したのがこの田宮であったと言われる。

戦後、田宮は731部隊で得た成果を利用し、リケッチアによる伝染病、つつが虫病の研究で有名になり、国立がんセンター初代所長、そして日本医師会会長まで登りつめ、医学界のボスとして君臨した。

水俣病では田宮委員会を組織し、熊本大医学部の有機水銀中毒説をつぶし、被害を拡大させた。

田宮が初代所長になった国立がんセンターだが、ここも問題が多い。

上昌広は、2001年から国立がんセンターで造血器悪性腫瘍の臨床研究をしていた。

国策遂行が最優先され、臨床試験を効率よく行なうために、重篤患者を切り捨て他の病院に回すのが当たり前だったと語っている。患者の命よりも研究成果が重視されるのだ。

「国立病院に生き続ける陸海軍の亡霊」（MRIC Vol.198 2008/12/22）

http://mric.tanaka.md/2008/12/22/_vol_198.html

ちなみに、2011年9月に山下俊一は、日本対がん協会（垣添忠生会長）から「朝日がん大賞」を受賞したが、垣添は元国立がんセンター総長であった。まさにズブズブの関係だ。

フィルムバッジを福島住民に配布することを提言したのもここ。ここも汚職など不祥事が相次ぎ、2010年に独立行政法人へ移行、国立がん“研究”センターと改称している。

インタビューで、上教授は福島で収集したデータが高く売れると話している。

<http://www.asyura2.com/13/genpatu32/msg/595.html>

住民の命、健康を守ろうという姿勢は全くうかがえない。彼にとって福島は金ヅルでしかないようだ。“モルモット”が逃げ出さないよう、後輩の坪倉正治を福島に派遣して安全デマを流布している。

「将来奴ら（福島県民）は、集団訴訟とかするんやろなあ」と酔って話したという話も伝わっている。

しかしまるで他人事、責任感は全く感じられない。

<http://blog.goo.ne.jp/mayumilehr/e/aacebb2e3d5f936dce460130bdfd2f30>



